

【台帳を作成する方法の例】

○年 ○月 ガソリンの詰替え販売記録表

販売日	氏名	住所	本人確認の方法	使用目的	販売数量
			☐ 運転免許証 ☐ 継続顧客 ☐ マイナンバーカード ☐ 会員証 ☐ パスポート ☐ 社員証 ☐ その他（ ）	☐ 農業用 ☐ レジャー用 ☐ 林業用 ☐ 自家用（除雪等） ☐ 工事・発電機用 ☐ その他（ ）	リットル
			☐ 運転免許証 ☐ 継続顧客 ☐ マイナンバーカード ☐ 会員証 ☐ パスポート ☐ 社員証 ☐ その他（ ）	☐ 農業用 ☐ レジャー用 ☐ 林業用 ☐ 自家用（除雪等） ☐ 工事・発電機用 ☐ その他（ ）	リットル
			☐ 運転免許証 ☐ 継続顧客 ☐ マイナンバーカード ☐ 会員証 ☐ パスポート ☐ 社員証 ☐ その他（ ）	☐ 農業用 ☐ レジャー用 ☐ 林業用 ☐ 自家用（除雪等） ☐ 工事・発電機用 ☐ その他（ ）	リットル
			☐ 運転免許証 ☐ 継続顧客 ☐ マイナンバーカード ☐ 会員証 ☐ パスポート ☐ 社員証 ☐ その他（ ）	☐ 農業用 ☐ レジャー用 ☐ 林業用 ☐ 自家用（除雪等） ☐ 工事・発電機用 ☐ その他（ ）	リットル
			☐ 運転免許証 ☐ 継続顧客 ☐ マイナンバーカード ☐ 会員証 ☐ パスポート ☐ 社員証 ☐ その他（ ）	☐ 農業用 ☐ レジャー用 ☐ 林業用 ☐ 自家用（除雪等） ☐ 工事・発電機用 ☐ その他（ ）	リットル

※1 記録表への記載は、個人情報保護の観点から、他の顧客に見られないよう、当該事業所の従業員が記載するものとする。

※2 既に運転免許証等により本人確認が行われている場合や、顧客と継続的な取引があり、当該事業所において氏名等を把握している場合（運用要領1（2）ア及びイの場合）は、顧客の住所、本人確認の方法欄の記載は省略することができる。

※3 当該事業所等が発行する会員証等が提示されている場合（運用要領1（2）ウの場合）は、「氏名」の欄に顧客の氏名に代えて会員番号を記載することができ、「住所」の欄の記載は省略することができる。

※4 顧客の所属する企業と継続的な取引があり、当該企業が発行する社員証が提示されている場合（運用要領1（2）エの場合）は、「氏名」及び「住所」の欄に当該企業の名称、所在地を記載することができる。